

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト

河道掘削工事が

丸森と角田で

いよいよ本格始動!

～現場見学会の開催～

阿武プロ
NEWS
2020/11

あぶくまがわ
緊急治水対策
プロジェクト
あぶたん

国土交通省仙台河川国道事務所

R6年度までに70万m³の河道掘削を実施。
合わせて流域の市町や関係機関とともに、
水害に強いまちづくりを目指していく。

当プロジェクトの
詳細はこちらから▼



◆緊急治水対策プロジェクトの1つ、『河道掘削工事』が本格始動。約70万m³(宮城県庁ビル3個分)の河道内土砂掘削を令和6年度末を目途に進めて行く。

◆今年度は、3つの現場で河道掘削工事を進め、8万m³を掘り出す。掘削土砂の一部は、下流の柴田町下名生地区の堤防強化工事に活用。

◆このため仙台河川国道事務所では11月11日、報道向けの現地見学会を開催。

◆丸森まちづくりセンターを会場に、プロジェクトの事業概要、河道掘削の目的や工事規模、全体工程等を中尾事務所長から説明。

◆続いて、丸森町、角田市の現場で、ICT技術を活用し工事の安全管理と効率化を両立させる現場の工夫等を、佐藤角田出張所長から説明。

◆今回の見学会にご参加いただいた一般紙・専門紙合わせて6社の方々

- ・読売新聞 東京本社 白石通信部
- ・毎日新聞社 仙台支局
- ・河北新報社 角田支局
- ・株式会社 建設新聞社
- ・株式会社 建設産業新聞 東北支社
- ・株式会社 日本建設新聞社 仙台総局

【説明会場】

中尾事務所長より、プロジェクト概要を説明。記者の方々からの熱心な質問に対応。

【現場会場】

佐藤角田出張所長より、ICT技術を活用した最新の現場管理の工夫などを説明。

今回の見学会場となった2つの河道掘削工事現場 ～ICT技術を活用し、工事の効率化と安全管理を両立～

① 丸森町館矢間(たてやま)地区



工事名:阿武隈川下流角田上流地区河道掘削工事
受注者:伸和興業株式会社

② 角田市江尻(えじり)地区



工事名:阿武隈川下流江尻地区河道掘削工事
受注者:千田建設株式会社



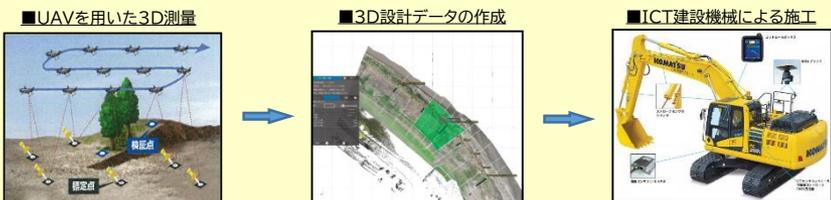
ここまでがきました 昨年の洪水位を表示 現場内の注意喚起
減多に見られない ICT建機の Cockpit を間近に
プロジェクトステッカーでPR 現場の一体感を意識醸成



ヒートマップで効率的な施工管理
工事関係車両識別のための表示
GPS運行管理で交通事故防止

ICT建機による掘削断面の効率的な出来形管理

- 建設現場における生産性向上と品質確保、安全性の確保を目的にICT建設機械を活用。
- オペレーターがモニターで確認しながら掘削ができるため、施工箇所の丁張設置や、掘削高さの確認作業が不要となる。 → 施工量の増加により**7日程度**の短縮が見込まれる。
- 毎日の掘削土量等の施工状況を確認できるため、工程管理や修正施工の指示が迅速にできる。
→ 出来形の確認の軽減により、**2日程度**の短縮が見込まれる。



GPSを利用したダンプトラックの運行管理

- ダンプの運行経路を周辺地区にチラシで事前周知済み。運行管理システムで車両の状況を把握し、**決められた経路や時間帯で通行しているかを確認**。地域の方からの情報に対しても、状況を即座に把握できる。
- 内蔵の加速度センサーにより急ハンドルや急発進、急ブレーキ等の情報も取得でき、運転データに基づいた**運転手への安全教育**が可能。工事車両による交通事故の発生抑制につながる。
- マスクやプロジェクトのステッカー**を貼り、プロジェクトの工事関係車両であることをわかりやすくPR。

